

◎サポーターほっとニュース

「サポーターほっとニュース」では、障がいに関する制度や研修会開催、ボランティア募集など、日ごろの活動に役立てていただくための様々な情報をご紹介します。

第25回目は、熊本市障がい者サポーターワークショップのご案内です。

【第25回】 障がい者サポーターワークショップ開催のお知らせ

障がい者サポーターの皆さんには、障がい者サポーター研修会への参加やサポーター通信の購読を通して、障がいについて理解を深めていただけていますが、実際に障がいのある方がどんな生活をしているか、どんな手助けを必要としているかなど、なかなか想像したり、話し合ったりする機会が少ないのではないかと思います。

そこで今回は、知的障がいや発達障がいを疑似体験することで、これらの障がいについて理解を深めるためのワークショップを開催します。

■日時：平成29年1月29日（日）開場13時30分 開会14時00分（2時間程度）

■場所：市役所別館自転車駐車場8階会議室

■対象：どなたでも

■定員：80名 ※先着順

■講師：矢野一隆さん（兵庫県たつの市 手をつなぐ育成会）

■申込み方法：1月5日（木）以降に、以下の①～③の内容を電話またはファクスにて障がい保健福祉課までご連絡ください。

①氏名、②電話番号（ファクスの方はファクス番号も）、

③必要な配慮（車椅子利用、聴覚障がいなど）

電話：096-328-2519 ファクス：096-325-2358



Topics

第2回おとなりマルシェを開催します！

3ヶ月連続企画！障がいのある方が作った物品の販売会を行います。野菜やお菓子、雑貨など、素敵な商品をご用意していますので、ぜひお立寄りください♪



つくる・つながる・ひろがる

おとなりマルシェ

日時：1月19日（木）

10時～17時

場所：びぶれす広場

鈴木ひとみさん講演 「人に優しい地域づくり、街づくり」

～すべての人に優しい街づくり、住み良い地域とは何か～



熊本市では12月10日（土）に平成28年度第1回熊本市障がい者サポーター研修会を開催しました。

第1部では、人権啓発講師でエッセイストの鈴木ひとみさんにご講演いただきました。鈴木さんはモデルとして活躍していた22歳の時に交通事故に遭い、車椅子生活を送ることになりました。事故直後、足が動かせないと分かったときは大変なショックを受けられ、今でも、本当の意味では障がいを受け入れることが出来ていないとおっしゃっていました。社会にとって必要とされない人間になってしまったのではないかと悩まれた時期もありましたが、周囲の方の支えもあり、また、車椅子に乗

っていることに関係なく、成長していきたいという強い思いを持って努力され、リハビリや日常的な家事だけでなく、執筆や講演活動、射撃やカーリングなどのスポーツにと活躍の場を広げてられました。

また、障がいのある方にとって、普段生活する地域の中で、どんなことがバリアになっていて、どんなことに配慮して欲しいのか、実際の困りごとや配慮の例を挙げながら説明していただきました。住民票の発券機のディスプレイの位置が車椅子利用者にとっては高すぎると感じたこと、エレベーターの正面に鏡が付いていると車椅子で出入りする際に役立つ等、普段私たちが特に気を止めていないことでも、困ったり、助かったりする方がいらっしゃるのだと改めて気付かされました。鈴木さんは、より多くの方が暮らしやすい街づくりのために、「想像力」をしっかり鍛えて欲しいとおっしゃっていました。自分達が普段暮らしている地域の中で、視覚障がいの方はどんなことに困るのかな、難病で疲れやすい人はどんなことに困るのかな、と考えることが、暮らしやすい街づくりの第一歩になるのではないのでしょうか。



今年も熊本市障がい者サポーター通信をご愛読いただきまして、ありがとうございました。来年もどうぞ、熊本市障がい者サポーター制度へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

